

先生、大人になったら青春って 終わるんですか。

大人になったら青春って終わるのかと聞いた私に、
答えは本の中にあると先生は言った。
本を読み続けて大人になった。
今も答えを探しているが、
青春は続いている。

そうだ、本を読もう。

古本市で買って

古本市

令和伍年拾貳月號

シアトル日本語補習学校 PTA

潜入 ルポ シリーズ

この冬ナウでおしゃれな

読書のススメ

ヤングなアベックも
ちょっとヤングじゃないあなたも

潜入ルポ・第5便
ちゃんとアポってます

大道委員長インタビュー
知られざる苦悩・記者が真相に迫る

2023

12

December

Vol.5



みなさん、こんにちは。

ナビゲータを務めるルポ隊員の ジュリエット T です。

今回私は補習校 PTA 最大のイベントである古本市に潜入してきました。広報部もついつい写真を忘れ本探しに熱中してしまうほど、たくさんの本が用意されており、会場は静かな熱気に包まれていました！

それでは皆様に現地の様子をお届けします。





古本市ってどんなイベントなの？

古本市は、子どもたちが大きくなって読まなくなった本や、日本へ帰国される方から寄贈された本などを集め、それらを新しい読者に届けることで、補習校に携わる皆様の発展に役立てるためのイベントです。



今や電子書籍があり、世界中どこにいても日本語の本を買うことができます。でも子どもってやはり本を手にとらないとなかなか興味を持ってくれない、そんな声を聞くことも。

アメリカにいと日本語の本に触れる機会が少なくなってしまうし、日本から本を送ると送料も高いので、子どもに本を読ませたいけど難しいな…

そう思っている方も多いのではないのでしょうか？

しかし心配しないでください！古本市なら、1冊\$1で購入ができ、更に1冊買えば1冊無料なんです！つまり、2冊で\$1で本が買えちゃう。これは破格ですね！



高学年、中高生には漫画が大人気でした！



そのころレジでは。。



あ、アラン部長、早速、好きな本を見つけて会計していますね。取材そっちのけでなにやってるのでしょうか。

よほど気に入ったのか、その後も2回電子決済で買い物していたようです。

CD や DVD も用意されており、弟や妹のために DVD を選んでいるという声も聞こえてきてほっこりしました♡





午後になるにつれて
お客さんは増えて、
レジも大忙しです。



大盛況に委員さんたち
にも安堵の表情？

華やかな会場の裏には古本市に携わるの方々の努力がありました。



I'm not kidding ...
これ全部本ですから
↓↓↓↓



号令をかける副キャプテンの
済んだ声が響く



本の分別は体力と
忍耐力のいる作業



会計部の皆さんも
朝早くからスタンバイ



アドバイザーの熊澤さん



会場で使用するサインの作成中



夕飯の献立の話。。。
じゃないですね。

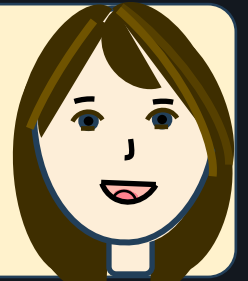


フルホニチ委員会 肉体労働部 整列しました！



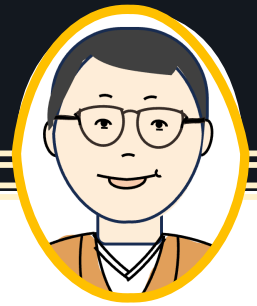
お気に入りの本を見つけて我らがアラン部長も
思わずニッコリ。

本がぎっしり詰まった箱は持ち上げるのも一苦勞！
皆さま、本当にお疲れ様でした。



大道委員長インタビュー

(11月18日に行われました)



- 古本市委員会のお仕事とはざっくりどんなものか教えてください。

ひと言で言うなら、保護者から寄付された本を販売し、その売上金をPTAの予算に組み込むことです。主な活動は古本市の開催ですが、その他にも本の回収、来年度の計画立案などが通年で行われます。

- 委員会の役割分担はありますか？

委員長、副委員長の役職の他、係の役割分担があります。委員長は対外的な折衝や他校との調整を担当し、副委員長は会計や備品の購入、古本市の販売時のレジ係を担当します。それぞれの係には、会場係、広報係が3名ずつ、回収係が5名おり、ボランティア調整を担当する2名の委員もいます。

- 回収係とは、どんなお仕事なのですか？

寄付された本の回収と整理を担当します。回収はイベントだけでなく、帰国者や外部からも行われ、今年は約180箱の本が寄せられました。回収した本は倉庫で絵本、図鑑、学習系、大人用などに分類されます。

- 年度を通して仕事があるのですね。ちなみに「箱」はどのくらいの大きさなのですか？

1箱は60×40センチの大きさで、約16キロの重さがあり、全体としてはかなりの量になります。

- 古本市の委員をやっていてよかったと思うことはありますか？

計画書を出す過程で納得したのですが、PTAの帰属意識は確実に高まりました。そして異なる職種の方々と知り合うことができますよね。

- 逆に苦労されていることは何ですか？

何度も開催当日のシミュレーションをしています。それでうまくいけば、結果良かったなと思うのでしょけれど。ちょっとどうしても頭から離れないんで、それがこう長い間続くとなると、やっぱりね、ちょっとストレスになります。

- 1回勝負だからシミュレーションを繰り返す必要があるのですね。

会社の会議中でも古本市の段取り考えてたりしますから。イエスかノーかって言われて、は？何の話でしたっけ。？っていう。

- いやいや、お仕事優先でお願いします。(笑)

大道委員長インタビュー

- そういえば、今年度は売れ残りは全部処分する方針と聞きました。

過去年は売れ残りを倉庫に戻していたのですが、どう考えてもこれは売れんだろうっていうのが多い。古いビジネス本とか。文庫本とか、10年以上前の旅行のガイドとかですね。

- とくに賞味期限切れですよ。

なにしろ、16キロの箱が200個です。それを倉庫に戻していました。私自身が以前ボランティアとして参加していて、これは無駄だと感じたことから、今回は倉庫に本を戻さないことにしました。

- かなりの重労働でしたね。

ええ、終わった後のコーラがおいしいですよ。

- 今年度の目標や抱負などありますか？

売り上げが4000ドルっていうのは、明確な目標なんですけど、もう一点、ボランティアさんが、満足できる状態にしたいと。時間が余っちゃったりとか、あまりに忙しすぎてとか、作業がきつくて、というのは避けたいですね。

- 仲間が、やってよかったと思える機会にしたいと。

来年もやってもいいよぐらいに言われたら、いいなという思いはあります。

- 最後に、来年の古本市委員になられる方々にメッセージなどあれば。

本はもちろん、コミュニティに興味がある方にも向いている仕事です。補習校内に限らず、外部の方に対しても発信ができます。

例えば、ともしび文庫や紀伊國屋、ベルビューカレッジの方々など、みなさん古本市のをご存じです。交流を通じて日系コミュニティの一員だと実感できます。補習校外のコネクションを強化できることに私自身、驚きました。

※ インタビューは11月18日に行われました



いつも笑顔でいられたわけじゃない。

幾度、段取りの
確認をいただろう。



FW YOSHIDA



FW HARDEN



FW KOKATSU

FORWARDS



MF TOJIMA



MF AOKI



MF VICE CAPTAIN
MUNAKATA

何度、重たい箱を
持ち上げただろう。

MIDFIELDERS



DF TOKUSA



DF TACHIBANA



DF TAWARA



DF TAKATO

DEFENDERS

出口の見えない
トンネルの先。

そこにあるものを
追いかけてきた。

GOAL KEEPER



GK CAPTAIN
OMICHI

つぎのミーティングは、打ち上げだ。

さて、今回も潜入ルポは大成功だったのかはわかりませんが、記者も取材をすっかり忘れて本探しに没頭しておりました。まさかさぼっている姿を部員にスクープされてしまうとは、とほほ。。

昼休みがくれた素敵な宝探しの時間に、好きな本が見つかった子もいれば、見つからなかった子もいたようです。どちらの子供たちにも、文字への興味は未来へといざなってくれる切符となるに違いありません。

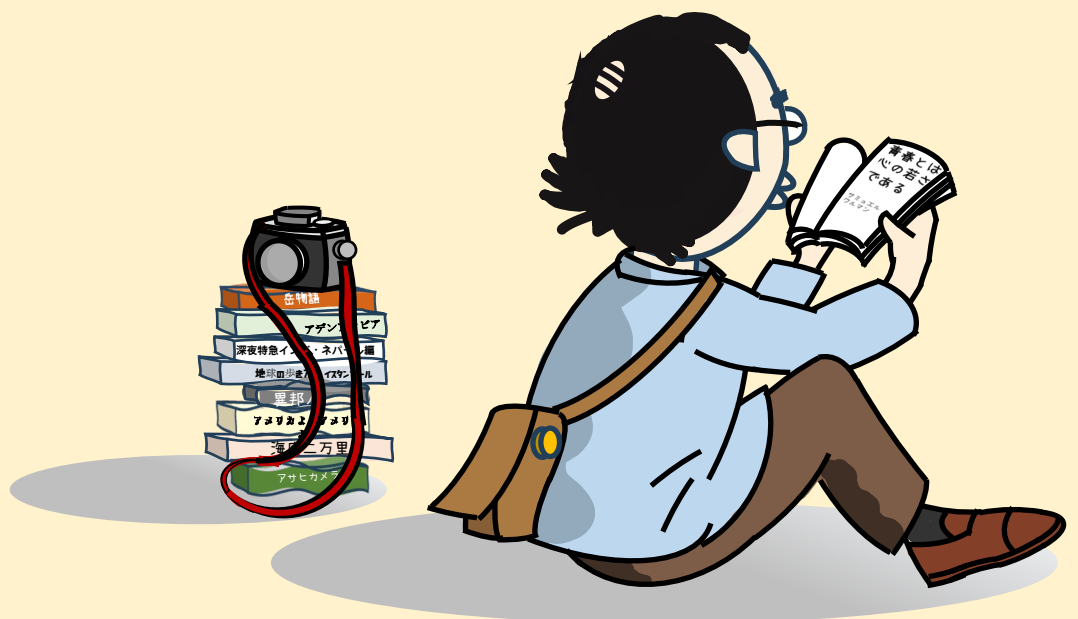
発車を待つ 青春発未来行き の特急の傍ら。私たち親にできることは、彼らを信じてホームで見送ることなのでしょうね。

かつて少年・少女だった私たちも、文字と共に大人への道歩きました。それは青春の終焉ではなく、新たな世界への扉を開くことだと、本の世界は教えてくれたのではないのでしょうか。

未だにその答えを求めている私たちにとって、青春は止まることなく続いているのでしょう。子どもたちに聞かれたら、青春は求める限り続くと、伝えてあげたいですね。

あ、もうこんな時間ですね。そろそろ次の取材に行かないと！ではみなさん、次号でお会いしましょう。

- アラン T



本号の取材・構成を担当してくれた ジュリエット 田村
および ジャン・ピエール・ロメオ 田村のお二人。



取材 構成:
Juliette Tamura
Jean-Pierre Roméo Tamura
イラスト:
Alan Takatsu

編集: 広報部

編集後記

季節的なイベントとして知られる古本市ですが、委員の皆さんは4月から準備に取り組み、終了後も次年度の計画や引き継ぎ作業に追われるとのことでした。業務は補習校外外に広がり、外部との打ち合わせや交渉も含まれます。

これは私が考えていたよりも遥かに繊細でハードなお仕事であり、委員の方々の苦勞と努力を再認識しました。

取材時はイベント一月前で、大道さんは頭の中で何度もシミュレーションを繰り返していると、おっしゃっていました。PTA最大のイベントである古本市。資金確保が明確な目標として求められている中、孤独な指揮官は何を思っていたのでしょうか。

イベントが大成功に終わった今、委員の皆さんもようやく一息つかれていることでしょう。年末はぜひ、ゆっくりお休みいただきたいですね。

広報部 編集室

2023年 仲冬

